

愛宕山開発用地の買取及び岩国医療センターの移転に関する要望について

愛宕山開発用地の買取及び岩国医療センターの移転に関して、岩国市長と山口県知事が要望を行いました。その概要は下記のとおりです。

記

- 1 日 時 平成 21 年 6 月 11 日 (木) 10 : 50 ~ 11 : 05 (国立病院機構)
14 : 40 ~ 14 : 50 (防衛省)
15 : 15 ~ 15 : 30 (国土交通省)
- 2 場 所 国立病院機構、参議院別館、国土交通省
- 3 要望先 独立行政法人国立病院機構理事長 矢崎 義雄 (やざき よしお)
防衛大臣 浜田 靖一 (はまだ やすかず)
防衛大臣政務官 岸 信夫 (きし のぶお)
国土交通事務次官 春田 謙 (はるた けん)
- 4 要望者 岩国市長 福田 良彦
山口県知事 二井 関成

5 要望内容 別紙要望書のとおり

6 要望に対する回答について

(1) 矢崎国立病院機構理事長

岩国医療センターの平成 24 年度の開院に関して、大筋の方向は決まったと思っている。二次承認に向けて、引き続き調整を進めてまいりたい。

(2) 浜田防衛大臣

愛宕山用地について、買い取りたいとの考えに変わりはない。貴県・貴市の要望の趣旨や地元の実情は十分承知しており、買取りの条件等については、今後、貴県や貴市の立場にも配慮しながら、お互いによく相談して対応してまいりたいので、もう少し時間をいただきたい。

今後、仮に買い取る事となった場合には、周辺住民の理解を得られるよう、できる限り努力してまいりたいと考えており、その際は、貴県や貴市の御協力をお願いする。

7 回答に対する市長のコメント

各省庁とも、岩国市の実情を十分理解していただき、全体的に前向きな回答であったと受け止めており、有意義な要望活動ができたと考えている。

また、国立病院機構においても平成24年度に開院する方向で調整されており、医療センターの移転の大筋の方向は決まったことが確認でき、今後、早急に二次承認に向けて調整する必要がある。

今日の要望を踏まえ、今後も県と連携を密にし、全ての課題が早期に解決、改善されるよう、全力で取り組んでまいりたい。